

広報 おおの



戸締まり用心、火の用心

主な内容

	ページ
市政10大ニュース……………	2～3
第三次行政改革推進状況…	4～5
市政功労者を表彰……………	6
年末年始の市の業務……………	7
市民のページ……………	10～11
お知らせ……………	14～15

平成12年(2000年)

12月号
No.663

URL <http://www.mitene.or.jp/~ono/>
E-MAIL ono@mitene.or.jp

古紙配合率100%再生紙を使用しています

今年もいろいろありました

おおのの
2000年
この
一年

① 亀山北西側斜面の杉の除伐などを行う 3月



⑤ 平成大野屋の平蔵オープン 4/10



② 介護保険制度スタート 4/1



⑥ 健康保養施設 あつ宝んどオープン 4/20



③ チャイルドシートなど購入費の助成を開始 4/1



⑦ 青島工業団地、二子コングループが全面進出 5/24



④ 市環境基本計画を策定 4月



⑧ 亀山周辺整備の基本構想発表 6/2



1月

1日 2000年問題大混乱なし
9日 成人の日を前に成人式

2月

17日 「地方都市中心街の魅力づくり支援事業（ラーバンリゾート）」シンポジウム

3月

19日 NHKのど自慢収録・大野高校女子ソフトボール部、全国選抜大会に出場
新年度の若年層定住新事業発表の基本計画を策定

4月

1日 チャイルドシート義務化 3日 工事設計価格事前に公表開始

5月

19日 七十歳以上の市民に温浴施設の助成券交付
青少年の海外研修に補助金

6月

21日 定例市議会で環境美化推進条例案を可決 25日 第42回衆議院議員総選挙 27日 大野地区・勝山市消防本部、初の合同訓練

7月

1日 都市景観団体などへの助成制度がまとまる 20日 あつ宝んど屋外の「流れるプール」オープン 26日 市子どもセンター情報誌「あ・そ・ぼーおおの」創刊

8月

16日 農家の廃棄物一斉回収スタ

的中者に記念品

応募は、はがきか投票用紙で

あなたが選ぶ 市政10大 ニュース

平成十二年（二〇〇〇年）もあとわずか。今年も市内外でいろいろの出来事がありました。皆さんは、どのようなことが印象に残ったでしょうか。主な出来事を市政を中心に振り返ってみました。

大野市十大ニュースは、皆さんからの投票で決定されます。写真の十六項目の中から十項目を選んでください。順

位は関係ありませんが、できるだけ番号順に書いてください。多数の応募をお待ちしています。

投票方法 はがきに住所・氏名・年齢・項目番号を番号順に明記し、市役所秘書広報課広報広聴係（〒912-1866 天神町1-1）まで郵送。また、各公民館や図書館・市民課の窓口な

どに投票用紙と投票箱を備えています。

締め切り 12月20日（当日の消印有効）

発表 今月下旬に新聞などで

賞品 10項目が的中した人には記念品を進呈します。ただし、的中者が多数の場合は、抽選で10人とさせていただきます。



⑬ 新富田大橋が開通

7/21



⑨ 市内循環バス試行運行

6/19~



⑭ スターランドさかだに
オープン

8/5



⑩ 青少年教育センター
利用開始

7/1



⑮ 公共下水道条例を制定

9月



⑪ 休日急患診療所に
「小児科」新設

7/2



⑯ 地下水の保全に一千万
円の寄付を受ける

10/31



⑫ 恐竜エキスポ
ふくい2000開催

7/20~

12月 (予定)

31日「夢・YUMEカウントダウン」inn大野亀山

11月

3日真名川砂防堰堤完成記念碑除幕式

18日イトヨシンポジウム

10月

1日大野・勝山地区広域行政事務組合、有終会館へ移転・六十五歳以上の介護保険料、半額徴収始まる・各種審議会や委員会など一人一委員制を導入

7日第25回県市町村文協選抜美術展9日「あつ宝んど」の有料入館者数10万人に

18日県市町村合併要綱検討懇話会、市町村合併構想の二案を発表

25日中部縦貫道・大野IC周辺地域の土地利用構想策定委員会の初会合

27日ハイデルベルクフィルハーモニー管弦楽団大野公演

1日大野・勝山地区広域行政事務組合、有終会館へ移転・六十五歳以上の介護保険料、半額徴収始まる・各種審議会や委員会など一人一委員制を導入

7日第25回県市町村文協選抜美術展9日「あつ宝んど」の有料入館者数10万人に

18日県市町村合併要綱検討懇話会、市町村合併構想の二案を発表

25日中部縦貫道・大野IC周辺地域の土地利用構想策定委員会の初会合

27日ハイデルベルクフィルハーモニー管弦楽団大野公演

9月

2日「全国人力車サミット」開催

9日「福井みらい創造会議inn奥越前」開催

15日「平成大野屋まつり2000」開催

17日恐竜エキスポ閉幕

21日荒島岳の無線中継所、撤去へ

10月

1日大野・勝山地区広域行政事務組合、有終会館へ移転・六十五歳以上の介護保険料、半額徴収始まる・各種審議会や委員会など一人一委員制を導入

7日第25回県市町村文協選抜美術展9日「あつ宝んど」の有料入館者数10万人に

18日県市町村合併要綱検討懇話会、市町村合併構想の二案を発表

25日中部縦貫道・大野IC周辺地域の土地利用構想策定委員会の初会合

27日ハイデルベルクフィルハーモニー管弦楽団大野公演

10月

1日大野・勝山地区広域行政事務組合、有終会館へ移転・六十五歳以上の介護保険料、半額徴収始まる・各種審議会や委員会など一人一委員制を導入

7日第25回県市町村文協選抜美術展9日「あつ宝んど」の有料入館者数10万人に

18日県市町村合併要綱検討懇話会、市町村合併構想の二案を発表

25日中部縦貫道・大野IC周辺地域の土地利用構想策定委員会の初会合

27日ハイデルベルクフィルハーモニー管弦楽団大野公演

平成
11年度

お知らせします

行政改革の推進状況

市では社会情勢の変化に柔軟に対応できる行政体質の強化、住民福祉の向上、個性的で活力ある地域づくりなどを目標とする第三次大野市行政改革大綱を策定し、行政改革に取り組んでいます。大綱では、推進重点事項として八分額二十二項目が掲げられています。項目に従い、主な推進状況を紹介します。

事務事業の見直し

①事務事業の整理合理化

現在、担当課ごとに行っている委託業務や契約業務などの一元管理に向け、現状の調査などを行いました。また補助金の対象となる事業の行政効果や目的達成度などの調査を行いました。これらのほかにも、事務事業評価システムの導入に向けた調査・研究、議会の議事録の磁気データ化に向けた検討を行いました。

②申請手続きの簡素効率化

事務手続きの簡素化に向

け、押印廃止できるものや簡略化できる手続きなどについて再点検を行いました。



「あっ宝んど」の受付風景

③事務事業の委託化の推進

福祉課が行っていたホームヘルプ事業を大野市社会福祉協議会へ委託しました。また、市健康保養施設「あっ宝んど」の管理・運営を公共施設管理公社に委託しました。

④各種団体の自主運営の促進

農業振興関係の団体や社会教育関係の団体、大野市体育協会など各種団体の自主運営に向け、関係者など

組織・機構の見直し

①行政機構の見直し

行政機構の見直しとして、十一年四月から七部・二四課・五室・五二係へ組織改正を行いました。また地方分権の具体化に伴い、組織機構や事務に関する条例・規則などの整備を行いました。

②各種審議会などの見直し

各種審議会の定数見直しや廃止などにより、定数百七十四人を削減しました。改選時の女性委員登用を



介護保険運営協議会の委嘱状交付

進め、女性の占める割合を十八・五割から十九・三割としました。また、各種審議会などの委員の公募制を導入し、十四人の登用を行いました。そのほか、一人一委員制の検討などを行いました。

③保育所、幼稚園の統廃合と民営化の推進

少子化に伴う保育所、幼稚園の統廃合と民営化の推進では、関係者からの意見聴取や関係機関との協議のほか、実態調査などを行いました。

④公共施設管理公社の効率的運営

施設の管理を委託することが、行政にとって効果的かどうかを再点検しました。さらに委託している業務の内容やコスト面での分析を行いました。また、各施設などへ管理システムを導入し、施設の管理事務などについて連携を取れるようにするなど、事務の効率化を進めました。

機構改革後の事務事業を考えた人材の適正な配置と、長期的な採用計画に基づく職員数を維持しました。

②新たな

定員適正化計画の策定 地方分権との関連を考えたながら、定員適正化計画の策定に向け、基礎調査に着手しました。

③人材育成の推進

人材の育成を総合的に推進するため、人材育成基本方針を策定しました。また、人事異動の際に公募制を導入し、職員の配置を行いました。

④多様な人材の確保

複雑で多様化する地域行政を担う職員を確保するため、民間企業などで働いた経験を持つ、社会人の採用を行いました。そのほか、県との人事交流なども行いました。

行政の情報化による

行政サービスの向上

①庁内ネットワークを活用した情報の共有化の推進 庁内ネットワークを活用し、統計情報など各種デー

定員管理の適正化と

人材の育成・確保

①定員管理の適正化

タの共有化を行いました。

② 地域情報化の推進

インターネットを活用した情報発信として、市のホームページに「広報おおの」「おおの議会だより」の部を掲載しました。

公正の確保と

透明性の向上

① 情報公開の推進

市のホームページ内に、議会日程や質問の表題などを掲載し、議会の公開などを進めました。

② 地方公共工事などの

適正な施行

効果的な公共工事を行うため十二件の設計価格の事前公表、十一件の予定価格の事後公表を試行しました。また、指名業者選定委員会で検討を行い、設計価格の事前公表を十二年度から行うこととしました。

効率的な行政運営と

財政の健全化

① 決裁権限の見直しによる

効率的な事務処理

現在、施行されている決裁規程などについて、改善

項目の点検を行いました。

② 財政の健全化

各部課で事業の自己点検を行い、経費削減を徹底しました。また、市の保有財産の実態把握や効率的な運用についての検討を行いました。

③ 公共施設使用料金の適正化

平成十年に県の条例が改正されたことから、奥越ふれあい公園の利用料金を見直しました。

広域行政の推進

① 広域共同処理事務の拡充

介護保険事務の一部を共同で行うため、奥越二市一村の介護認定審査会を大野・勝山地区広域行政事務組合に設置しました。また、一般廃棄物処理施



介護認定審査会の様子

設整備計画推進委員会を大野・勝山地区広域行政事務組合に設置して、一般廃棄物を処理する際の環境などへの影響調査や、施設の建設に伴う計画策定事業などの業務委託を行いました。

環境の保全と創造

① 環境基本計画の策定

環境の保全と創造について基本的な方向づけを行い、具体的に積極的な取り組みを進めるための大野市環境基本計画を策定し、冊子を作成しました。また、大野市環境基本計画から内容を抜粋した普及版を作成し、全戸に配布しました。

② ISO14001の

認証取得

環境にやさしいまちづくりを推進する、国際環境規格「ISO14001」の認証取得に向けた取り組みとして、環境に影響する事務・事業などの点検を行いました。

今後とも一年目（平成十一年度）の推進状況を踏まえて、必要なものについては見直しを行いながら、引き続き行政改革に取り組んでいきます。

保留地を売却します

北部第三土地区画整理組合では、中野地区で造成中の2カ所の保留地の競売を行います。入札時期は平成13年1月以降を予定しています。購入を希望する人は、下記まで問い合わせください。

競売保留予定地

- ①約969㎡
(約293坪)
- ②約513㎡
(約155坪)

問い合わせ先

北部第三土地区画整理組合
大野市要町1番21号（JAテラル越前下庄支所内）
☎69・7577 ファクス69・7588



教育委員長に 上田氏が再任

10月26日に行われた定例教育委員会で、任期満了に伴う教育委員長と、教育委員長職務代理者（ともに任期1年）の選任が行われ、次のとおり決まりました。

教育委員長

上田 堅

(71歳・日吉町) 再任

教育委員長職務代理者

東方 治男

(61歳・中津川) 再任

平成12年度市長表彰

市に関するさまざまな活動に携わり、その充実と発展に貢献した市民を顕彰する市長表彰が、十一月三日「文化の日」に行われました。表彰を受けた十七人を紹介します。

自治振興功勞



村西利榮さん
(61歳・吉野町)

市議会議員として十年余り市政全般にわたる活動に専念、市政の発展と地方自治の進展に寄与。



土屋幸男さん
(63歳・阿難祖領家)

教育委員として十二年にわたり教育行政の円滑な推進に尽力、地方行政の発展に寄与。



北川良憲さん
(67歳・春日三)

行政連絡事務嘱託員（区長）として十五年余り地域住民の福祉向上と地区自治活動に尽力、地方自治の発展に寄与。



吉田とみ子さん
(70歳・本町)

行政相談委員として十九年余り市民の行政に関する苦情などの解決に尽力、行政の民主的な運営に寄与。



小林寿子さん
(73歳・水落町)

市報編集委員として十五年にわたり企画・編集を担当、魅力ある紙面づくりに尽力、行政広報の推進に寄与。

社会事業功勞



幅口芳枝さん
(75歳・清和町)

保護司として二十二年余り社会奉仕の精神をもって過ちに陥った人たちの更生に尽力、個人と公共の福祉に寄与。

教育文化功勞



薬袋俊次さん
(56歳・春日一)

学校医として二十年余り児童の健康管理と健康診断などの技術向上・指導に尽力、学校保健の発展に寄与。



田村三治さん
(63歳・稲郷)

大野市柔道連盟理事長として二十五年余り組織の強化と技術の向上や底辺拡大に尽力、スポーツの振興に寄与。



堂本 正さん
(81歳・吉野町)

国民年金委員として二十二年余り年金制度の普及、啓発と年金保険料の取りまとめに尽力、市民福祉の安定に寄与。

保健衛生功勞



池端政子さん
(59歳・篠座)

保健推進員として二十一年余り健康づくりの地域リーダーを務め、健康推進活動に尽力、保健衛生の発展に寄与。

消防功勞



窓岩 潔さん
(60歳・陽明町二)



藤堂二男さん
(59歳・養道)



清水賢治さん
(56歳・下丁)

消防団員として、窓岩潔さんは三十年余り、藤堂二男さんは三十年余り、清水賢治さんは三十五年余り、安川与治雄さんは三十一年、原田貞夫

交通功勞



宮本國男さん
(62歳・陽明町四)

大野交通安全協会役員として三十三年余り協会の円滑な運営と交通安全思想の普及に尽力、市民生活の安定に寄与。



安川与治雄さん
(52歳・下舌)



原田貞夫さん
(61歳・橋爪)



中畑 始さん
(61歳・南六呂師)

さんは三十四年余り、中畑始さんは三十二年余り、地域防災活動と消防使命の達成に尽力、市民生活の安定保全と消防の発展に寄与。

市民課窓口は29日から1月3日まで休み

窓口が込み合います

住民票や各種証明書の発行などの窓口業務は、二十八日まで行います。年明けは特に混雑しますので、用件はお早めに済ませてください。

住民票と税証明は、電話での予約ができます。市民窓口係(☎66・1111内線453)

ごみ収集は二十九日まで

燃えるごみと燃えないごみの収集は、二十九日の収集地区まで行います。缶類・古紙

までお問い合わせください。出生届や死亡届などは、窓口が休みの間でも、市役所当直室(庁舎東側入り口横)で受け付けています。

までお問い合わせください。

5	4	3	2	1	31	30	29	28	27	26	日
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	曜
平常	平常	←	←	←	休	→	→	平常	平常	平常	市民課 窓口
平常	平常	←	←	←	休	午後3時 まで	平常	平常	平常	平常	ごみの 持ち込み
平常	平常	←	←	←	休	→	平常	平常	平常	平常	し尿 くみ取り
休	休	←	←	←	午前9時 午後9時	→	休	休	休	休	休日急患 診療所
平常	←	←	←	←	休	→	平常	平常	平常	平常	図書館

類・ペットボトルの収集は、二十七日の収集地区まで行います。各地区の最終収集日がいづになるか、確認して出してください。

クリーンセンターへの持ち込みは、三十日の午後三時まで受け付けます。

空きびん回収は、一月・二月は積雪のため休業です。三月まで各家庭で保管してください。

くみ取りは早めに

くみ取り業者は、二十九日から一月三日まで休業となります。年末は、大変込み合いますので、業者への依頼は早めにしてください。

休みの間の急患は

十二月三十・三十一日、一月一・二・三日は午前九時から午後九時まで急患の診療を行います。来所の際は、必ず保険証を持参ください。

図書館の貸し出し

図書館は、二十八日から一月四日まで休館となります。また、十二月十四日から平成十二年三月末日まで、図書の特貸し出しを行います。この期間中は、貸し出し期間を二週間から三週間に延長しています(休館日を除く)。

気になります 介護保険制度

No.10

今回は、要介護・要支援の認定を受けた人が、自宅でスムーズに生活できることを目的に行っている、福祉用具の貸与や購入について紹介します。

福祉用具の貸与

要支援・要介護度別に、居室サービスの支給限度額の範囲内で福祉用具を借りることができます。

- ・車いすとその付属品 (付属品のみは不可)
- ・特殊ベッドとその付属品 (付属品のみは不可)
- ・床ずれ予防用具
- ・体位変換器
- ・手すり
- ・スロープ
- ・歩行器
- ・歩行補助つえ
- ・痴呆性老人徘徊感知器
- ・移動用リフト

福祉用具の購入

要支援・要介護度に関係なく、居室サービスの支給限度額の外枠で、福祉用具の購入費の九割が支給されます(最高九万円まで)。

支給の対象となる福祉用具

- ・腰掛け便座
- ・特殊尿器
- ・入浴補助用具
- ・簡易浴槽
- ・移動用リフトのつり具

用具の購入費用は、いったん全額を支払い、後日、市に申請して払い戻しを受けることとなります。

申請書のほかに必要な書類は、領収書
購入した用具のカタログの写し

介護支援専門員(ケアマネージャー)による居宅介護支援計画(ケアプラン)に盛り込み、ほかの居宅サービスと組み合わせる利用するのが一般的ですが、単一のサービスとして利用することもできます。

問い合わせ先 市役所高齢福祉課介護保険係(☎66-1111内線477)

出前遊びり教室

地域で楽しく健康づくり

最近、健康にちよつと不安があつて、外にでることが少なくなつてきた。外には出たいのだけれども、一人で出ると何かあつたときに不安だ。そんな人は「出前遊びり教室」に参加して、楽しくリハビリテーションしませんか。

出前遊びり教室って

これまでリハビリテーション（機能訓練）といえば、お年寄りにセンターまで通つてもらふ、通所リハビリテーションが中心でした。保健センターでは、今年の六月から、保健婦などセンターのスタッフが地域へ出向いて行う地域参加型のリハビリテーション「出前遊びり教室」を始めました。

この教室は、お年寄りの健康づくりの一環として行うもので、要支援・要介護と認定されない元気な体づくりや、閉じこもり・孤立化などといった状態の予防などを目的として行うものです。

どうやってやるの

現在「富田・阪谷」、「下庄・乾側」、「上庄・小山」と、二地区で一つの会場を設け三カ所で行っています。



会場には、地域の公民館やふれあい会館などを利用してありますが、内容により異なる場合もあります。また、各会場までの送迎なども行っています。

いつやるの

各会場とも月二回。時間は午前十時から午後三時で、参加費用は一回につき五百円です。開催日は各会場で異なります。

どんな人が対象なの

原則として、介護保険制度を利用していない人や、健康に何らかの不安があつて、外に出る機会の少ないお年寄りなどを対象としています。

参加数は二十人から三十人程度ですが「友達から話を聞いて：」などと参加する人が増えています。また、車いすを利用してある人や、体に少ししびれのある人なども積極的に参加しています。

どんなことをするの

みんなで意見を出し合い、年間の計画を立てています。これまでに軽体操など体全体を動かすものや、陶芸や工作など手先を使うもの、歌やお茶会などレクリエーション



を取り入れたものや、医師や理学療法士を招いての勉強会などが行われました。これらの内容に参加者も積極的に取り組んでいて、陶芸作品を市の文化祭に出展するなど大変意欲的です。また、みんなで一緒に食事を取ることから、食欲増進にも効果があるようです。

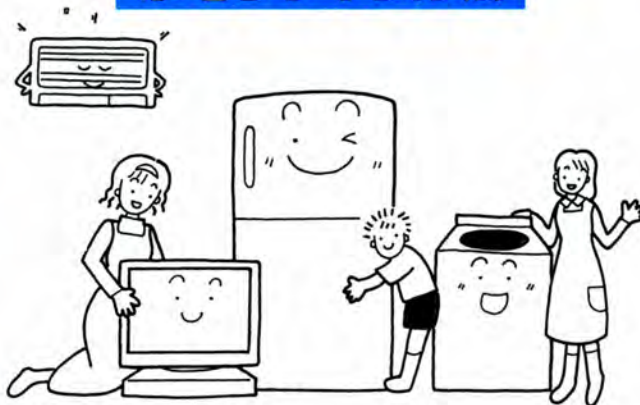
この「出前遊びり教室」は、地域でリハビリテーションなどを行うことで、より多くの人に参加してもらおうというものです。今後、参加者数によつては、会場を増やすことも検討しています。家にこもりがちの人や、一人では外出に不安のある人、みんなで集まつて、元気なお年寄りになりませんか。

皆さんの健康づくりを後押しします・保健センター (☎65・7333)

アドバイス

暮らしの

家電リサイクル法



平成十三年四月一日から「家電リサイクル法」が施行されます。これは、廃棄される家電製品の処理を適正に行い、そこから生まれる資源を有効に利用することで、クリーンな循環型の社会を作ることを目的としています。

対象は四品目

家電リサイクル法の対象になるのは、エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機といった家電製品の中の主要な四品目です。

これらは現在、年間約一八〇〇万台、重量にして約六〇万トがごみとして処分されています。その中から一部の金属などが回収されているものの、大部分は埋め立て処分されていて、地球環境問題からも、その対策が強く求められています。

廃棄物を減らすために

廃棄物を減らすためには、次の三つのことが重要です。

- ・なるべく廃棄物の発生を抑制（リデュース）すること
- ・使用済み製品などを、できるだけ再利用（リユース）すること
- ・廃棄物として回収されたものについては、可能な限り原材料などの再商品化（リサイクル）を行うこと

これらの内容をメーカー

（製品をつくった人）や小売店（販売した人）、そして消費者（使った人）が協力して進め、廃棄物の適正な処理を行います。

そして、そこから生まれる資源を有効に利用する、新しい循環型の社会システムを作り上げることが、家電リサイクル法の目的です。

使った人（消費者）は

使わなくなった家電製品は、再商品化（リサイクル）できるように小売店などへ引き渡してください。

そのときに、廃棄物を再商品化するための費用を、消費者が負担することになります。

家電メーカーが廃棄物を再商品化するには、それぞれ次の金額がかかります。

エアコン	三千五百円
テレビ	二千七百円
冷蔵庫	四千六百円
洗濯機	二千四百円

なお、これらの料金以外に、施設までの運搬費用など廃棄物の収集・運搬を行う料金が別途必要となります。

これからの循環型社会構築のため、皆さんの協力をお願いします。

売った人（小売店）は

対象となる家電製品を収集し、責任をもって家電メーカーに引き渡すこととなります。

再商品化の対象となる家電製品は、中古品として再利用される以外は、その製品を作ったメーカーへと引き渡されることとなります。

作った人（メーカー）は

家電メーカーは、廃棄された家電製品を、きちんと再商品化（再資源化）することになります。

廃棄され、集められた家電製品は、新商品の原材料や部品、燃料などへと再利用され、資源が有効に使われることとなります。

みんなで協力して、使わなくなった家電製品を、新しい商品や資源へと有効に利用できるようにしましょう。



消費生活に関するご相談は消費者相談センターへ ☎66・1111 内線464 (市役所生活環境課)

ぐるーぷ登場

大野市 陸上スポーツクラブ

走るの大好き、のびのび練習

大野市陸上スポーツクラブは、市内の陸上競技のジュニア部門の育成やレベル向上などを目的に、平成十二年九月に発足しました。

現在メンバーは小・中学生を中心に十八人。毎週土曜日、奥越ふれあい公園で、小学生は基礎体力づくりを中心に、中学生は自分の専門競技のレベルアップを目指して、練習に励んでいます。

陸上関係者ら十人がコーチをするほか、ケガの防止や栄養バランスの面などについて、サポートできるようにと、看護婦や栄養士の資格を持つ人もスタッフに加わり、総合的に取り組んでいます。

「走ることの大好きな子どもが、たくさん集まってくれたので、コーチをはじめみんな張りきっています。ずば抜

市民のページ

■この「ページ」では市民の皆さんの活動ぶりやご意見などを紹介いたします。あなたもページに参加しませんか。連絡先 市役所秘書広報課（☎66・1111）

今月のスナップ



の大会へも積極的に出場していくそうです。

興味のある人は、幹事の朝日正幸さん（☎090・3298・3325）まで。



けた選手はいませんが、練習を続けて、将来県を代表するような選手が生まれたらうれしいですね。また、このクラブの練習を通して陸上に限らずスポーツをすることの素晴らしさみたいなものも教えていきたいですね」とコーチの朝日正幸さん。メンバーの牧野康弘くん（小山小六年）は「持久走と幅跳びが大好き。学校の先生に勧められて参加しましたが、自分の目標に向けて学校では行わないような練習もあり、とても楽しいです。一生懸命練習して、もっと記録を伸ばしたいな」と意欲満々。

今後は、市外の陸上



テーマ ～旅する～

『フリズル先生のマジックスクールバス』

この本は、大人と子どもと一緒に楽しめる絵本です。

主人公のフリズル先生が運転するスクールバスは、子どもたちを乗せて、水中や海底の底や宇宙などいろいろなところへ旅をします。

フリズル先生は、科学が大好きな、ちょっと不思議な人。子どもたちに授業や宿題で、食べ残しのパンにみどり色のカビを繁殖させたり、ゴミ捨て場の模型を作らせたりと、変わったことをやらせます。そのうえ、ほ



『フリズル先生のマジックスクールバス』

ジョアンナ・コール著

こんにちは



中国民族楽器の演奏会を開催 山内主江(中国名 于蘭兒)さん(二十六歳・春日三丁目)

山内さんは、日本では珍しい中国の楽器、二胡と古箏の演奏家です。十月二十一日に市文化会館で開催したコンサート「秋之夢」では、中国に古くから伝わる名曲で、会場

を訪れた約五百人の聴衆を魅了しました。

二胡と古箏は、中国に古くから伝わる弦楽器です。二胡は二本の弦を弓で、古箏は二十本以上ある弦を琴のように指で奏でます。

小さなころからピアノやフルートなどで音楽に親しんでいた山内さん。平成九年から一年間、中国へ語学留学したときに、伝統音楽に触れてみたいと思ひ、軽い気持ちで挑戦したそうです。

「二胡を習い始めた時は、リズムやメロディに慣れなく

Q

先日、友人と絵画展に行ったとき「市から補助を受けて開催している」と実行委員の人から聞き、とても興味を覚えました。私たちがこのような展覧会を開く場合でも補助は受けられるのでしょうか。詳しく教えてください。

A

この補助は、大野市文化後援事業というもので市民が行う文化や芸術に関する公演会や展示会、研究活動などに補助を行うものです。平成

私もひとこと

美術展や演奏会の補助について教えてください

十一年度には「近藤吾郎・風鈴丸展」など二十四のイベントが対象になりました。

この事業は大きく文化芸術振興事業と文化芸術活動事業に分けられます。文化芸術振興事業は、市内で公演または展示会を行い、市民に広く公開される事業などへ、文化芸術活動事業は、伝統芸能活動の保存・普及や、歴史や科学などの調査研究活動、美術や音楽などの文化活動事業に補助を行う事業です。

補助の申請は、決められた様式の申請書に、事業の計画や予算書などの関係書類を添え、教育委員会に提出して行います。

教育委員会では、計画や内容などを検討し、そのなかで適当であると認められた事業について、予算の範囲内で補助を行います。

文化芸術活動事業では、必要経費の二分の一以内の金額

で三十万円を限度として、文化芸術振興事業では必要経費に補助率をかけて算出された金額を補助します。

補助率算定基準一覧

- ① 必要経費から入場料(売上金)の収入額を差し引いた額の80%
- ② 全事業費の50%以内
- ③ 推定参加者一人当たり補助額は3,000円以内

右の算定方法のうち、最も低い額が補助額となります。

(文化振興室長)

問い合わせ先 市教育委員会
文化振興室(☎66・1111
1内線545)



投稿規定

市政についての質問や意見などを、八方キでお寄せください。「住所・氏名・年齢・電話番号」を必ずお書きください。紙上匿名は自由ですが住所・氏名のないものは採用できません。

原文を一部要約することがあります。

あて先は、☎912-8666 大野市天神町一丁目 市役所秘書広報課広報広聴係)です。

お知らせ

映画上映会

「問題はこれからです」
を見る実行委員会

日時 12月10日①

午後2時~4時30分

場所 市文化会館

内容 秋田県鷹巣町で行われている福祉の内容を描いたドキュメンタリー映画
「問題はこれからです」続

「住民が選択した町の福祉」
の上映会

入場料 999円

問い合わせ先

「問題はこれからです」
を見る実行委員会委員長
坪田 千鶴さん
(☎65・8656)



実りの秋……



おおの産業フェア 11月10・12日



2000たいも祭り 11月3日

秋 満喫

10月中旬～11月中旬にかけ、市内各地でさまざまなイベントや行事が開催されました。



三大朝市まつり 10月21・22日

……芸術の秋



「ハイデルベルク・フィル・ハーモニー管弦楽団」大野公演 10月27日



尾野悠元 能面展 10月13～19日

スポーツの秋……



第45回都市対抗駅伝競走大会 11月5日



全国高校駅伝競走大会の県予選大会 11月5日

話題の広場

話題の広場

インターチェンジを生かした まちづくりに向けて

中部縦貫自動車道大野インターチェンジ周辺の景観や土地利用などを考える、構想策定委員会の初会合が10月25日に行われました。今後、インターチェンジの効果を最大限に生かすための基本的な方向について考えていきます。



若手農業者のレベルアップを

農業機械に対する技術を向上しようと10月28日「農業機械オペレーター技能向上研修会」が、尾永見区の水田で開催されました。約60人が参加し、田植え機の整備方法やトラクターによる代かき作業などについて学んでいました。



風情豊かな町家を見学

市内に残る古い建物などを見学し、大野の伝統的建造物に触れる「町家めぐり」が10月28日、行われました。市民ら約30人が古い町家など24軒を見学。専門家から詳しい説明を受け、大野の伝統的な建築技術などについて学びました。



動物たちも冬支度

本格的な冬に備え、11月6日に新堀川のニシキゴイが養魚場へ、11月9日に円山公園にあるミニ動物園の動物が越冬宿舍へと引越しました。

身近な話題をお知らせください。

お知らせ

12月



12月は不法投棄等 防止啓発月間です

市役所生活環境課

最近、粗大ごみや建設廃材などいろいろな廃棄物の、河川や山林など人目に付きにくい場所への不法投棄が増えています。

不法投棄を無くすため、私たち一人ひとりが監視役となり、大野の美しい自然を守りましょう。

廃棄物の不法投棄を監視す

冬の備えは大丈夫ですか？

雪に備える週間

12月1日～7日

快適な冬は、一人一人の協力から。冬を迎えるにあたってルールやマナーについて話し合い、みんなで協力して雪対策を進めましょう。

1月1日現在で所有する事業用償却資産に対して、固定資産税が課税されます。市内に該当する資産を保有もしくは貸し付けている法人や個人は、地方税法の定めにより申告することになっています。対象となる資産は、法人税法または所得税法に基づく所得の計算上、損金または必要経費に算入される機械・器具・装置・備品・車両・運搬具・構築物などです。期限の1月31日(※)までに必ず申告書を提出してください。

償却資産の申告は 1月31日までに

市役所税務課

そのため、県・市・警察が監視パトロールを実施しています。不法投棄を見つけたら、奥越健康福祉センター(☎66・2076)、市役所生活環境課(☎66・1111)、大野警察署(☎65・0110)へ連絡してください。

提出・問い合わせ先 市役所

税務課資産税係(☎66・1111内線426)

サラリーマンの奥さん 届け出が必要です

市役所市民課

厚生年金や共済組合に加入している人の扶養となつている配偶者は、市役所に届け出ることです。「第3号被保険者」となり、国民年金保険料を納付しなくてもよくなります。これは、厚生年金や共済組合から「第3号被保険者」の保険料分が支払われるからです。

ただし、厚生年金や共済組合に加入している人が転職や退職をしたり、「第3号被保険者」になつている人が就職をしたときなどは、届け出が必要になります。届け出を忘れると、年金を受けられなくなることもありますので注意してください。問い合わせ先 市役所市民課

年金係(☎66・1111内線455)

人間ドックのお知らせ

市役所市民課

市国民健康保険では、疾病の早期発見と予防のため、30歳以上70歳未満の人を対象に

交通安全



飲酒運転 絶対ダメ！

年末は何かとお酒を飲む機会が増えるのではないのでしょうか。お酒を飲んでいい気分になり軽い気持ちで車を運転……:たくさんの悲惨な結果を招いています。お酒を飲むと自信過剰になり、気が大きくなる傾向があります。そんな状態での運転は、ついついスピードが上がり大変危険です。

また、視力が低下し視野も狭まっているため、危険を発見してもブレーキをか

けるまでの時間が長く、事故を起こしやすくなつていきます。

飲酒運転で起きた事故には、正面衝突や単独事故が多く、致死率も飲酒していない場合の事故と比べ二十倍も高くなつています。

飲酒運転はとても危険です。絶対にやめましょう。

酒酔い運転

2年以下の懲役又は10万円以下の罰金

酒気帯び運転

3ヶ月以下の懲役又は5万円以下の罰金

酒酔い運転による交通事故

5年以下の懲役又は50万円以下の罰金

人間ドックを実施しています。

受診期間 平成13年3月31日

①まで

申し込み・問い合わせ先 市役所市民課国保係(☎66・1111内線458)

指名願の受付について

市役所検査監理室

平成13・14年度の建設工事等入札参加者資格審査申請を受け付けます。申請資格

は、正面衝突や単独事故が多く、致死率も飲酒していない場合の事故と比べ二十倍も高くなつています。

飲酒運転はとても危険です。絶対にやめましょう。

酒酔い運転

2年以下の懲役又は10万円以下の罰金

酒気帯び運転

3ヶ月以下の懲役又は5万円以下の罰金

酒酔い運転による交通事故

5年以下の懲役又は50万円以下の罰金

建設業者 建設業許可業者で、毎年経営事項審査を受けていること

建設コンサルタント登録規程により、登録されていること
・その他業種 問い合わせ先まで

受付期間 平成13年1月5日

②(☎)2月28日(※)

申請用紙 市指定の様式あり
問い合わせ先 市役所検査監理室(☎66・1111内線228)

**悩みごとの相談は
人権擁護委員まで**

12月4日から10日は「第52回人権週間」です。
人権擁護委員は、家庭内や近隣とのめごと、いやがらせ、いじめなどの相談に応じています。相談は無料で、相談者の秘密は固く守られます。

毎月第1・3木曜日に有終会館別館で、特設人権相談所を開設しています。気軽に相談してください。



人権擁護委員

- 多田 正則 (伏石 ☎67・1491)
- 松田まつ枝 (要町 ☎66・2471)
- 堂東 昭子 (中野 ☎66・3710)
- 松田八重子 (城町 ☎66・5534)
- 上田 輝司 (森政領家 ☎65・1791) 敬称略

休館のお知らせ

あっ宝んど

12月5日(火) (定休日)・6日(水)・7日(木)の3日間は、機械設備の点検整備と館内の特殊清掃のため休館します。
また、年末年始は12月30日(土)～翌年の1月2日(火)まで休館します。

問い合わせ先 あっ宝んど
(☎66・7900)

少年少女スキー教室

市教育委員会スポーツ課

日時 平成13年1月13日(土)・14日(日)

14日(日) 午前9時～午後3時30分(両日とも)
場所 六呂師スキー場(予定)
対象 3年生以上の小学生
内容 レベルに応じたクラス別指導(歩行からボーゲン、スラロームまで)
持ち物 スキー用具一式、帽子、手袋、ゴーグル、着替え、昼食、リフト代など
定員 先着60人
参加料 450円(保険料)
申し込み方法 12月15日(金)までに、所定の申込書に参加料を添えて
申し込み・問い合わせ先 市教育委員会スポーツ課(☎66・1111内線531)

スノーボード講習会

市教育委員会スポーツ課

日時 平成13年1月12日(金)・19日(金)・26日(金)
内容 19日(金)・26日(金)いずれも午後7時20分集合
集合場所 六呂師高原スキー場、妻平ヒュッテ前
対象 市内18歳以上の人(高校生は除く)
定員 初級者、中級者、各コース20人
参加料 1400円(保険料)
申し込み方法 1月5日(金)までに、所定の申込書に参加料を添えて
その他 受講中の傷害については、傷害保険によるもの以外責任を負いません。
積雪の状況などで実施できない場合は、前日までに可否決定を連絡します。

申し込み・問い合わせ先 市教育委員会スポーツ課(☎66・1111内線532)

海外体験クルーズ

参加者募集

市B&G海洋センター

日時 平成13年3月26日(月)～4月4日(水)

内容 洋上研修や寄港地活動
行き先 グアム
参加料 13万8千円

ギター教室の生徒募集

市勤労青少年ホーム

日時 平成13年1月10日(水)～3月22日(水)(全12回)
①午後7時～8時
②午後8時～9時
場所 市勤労青少年ホーム
講師 出口大造さん
参加料 無料
対象 アコースティックギターを持参できる初心者
定員 8人
申込締切日 12月29日(金)
申し込み・問い合わせ先 勤労青少年ホーム(☎65・7221)

問い合わせ先 市役所市民課 国保係(☎66・1111内線457)

**国保健康づくり事業
薬草風呂の無料開放**

市役所市民課

日時 12月21日(木)
午後3時～8時

場所 市内の公衆浴場6会場
東湯・改盛湯・亀山湯・キユーピー湯・白山湯・日乃出湯(五十音順)

保育所への入所申し込みと、公立幼稚園の園児募集について

市役所福祉課・学校教育課

例年は12月号でお知らせしている、新年度(平成13年4月から)の保育所(公立・私立)への入所申し込みと、公立幼稚園の園児募集は「広報おのの」1月号で掲載します。
問い合わせ先 市役所福祉課 児童福祉係(☎66・1111内線474)

教育委員会学校教育課(☎66・1111内線522)

**工業統計調査、石油等消費構造統計調査
平成12年12月31日**

ご協力をお願いします。

12月31日は工業統計調査、石油等消費構造統計調査の日です。調査票が届いたら、同封された「調査票記入のしかた」をご覧の上、漏れなく記入ください。ご協力をお願いします。

通産産業省・福井県・大野市

市民のうごき

	11月1日現在	前月比
世帯数	11,789世帯	-7世帯
人口	40,628人	-5人
内訳	男	-7人
	女	+2人
10月中の異動	転入	出生 38人
	転出	死亡 36人

市内の交通事故状況 (年頭からの計)

件数内訳	平成12年 10月 末	平成11年 10月 末	比較
総件数	553件	503件	+50件
人身事故	件数	141件	-19件
	死者	3人	+1人
物損事故	傷者	171人	-17人
	412件	343件	+69件

11月9日(15日)に実施された秋の火災予防運動の一環として、いとよ保育園の園児たちによる防火パレードが行われました。戸締まり用心・火の用心と元気に歌いながらパレードしたあと、店頭で買い物客らにチラシを配り、防火を呼びかけました。

表紙のうごき

2000年問題で大騒ぎしながら始まった世紀末もあとわずか。毎年この時期になると何かやり残したことがあるのではと考え込んでしましますが、考えていても時間は過ぎて行くだけ。じたばたしないですっきりと二十一世紀を迎えようと思えます。(養)

編集後記

あとわずかで今世紀もフィナーレ。この一年を振り返ってみるとミレニアムであげられた。イベントにはミレニアムの冠詞がつけられ、商品もミレニアムで売り出した。シドニー五輪から恐竜エキスポなど各種イベント。プロ野球ON対決など千年紀にふさわしい行事が各地で展開された。話題の人もノーベル賞の白川英樹さん、マラソンの高橋尚子さん、スベスシャトルディスプレイの若田光一さんなど枚挙にいとまなし。自然界ではミレニアムに同調したかのように困った現象がみられた。有珠山の噴火をはじめ、全島避難となった三宅島。全国各地で頻発する地震に驚かされ、鳥取西部地震で被害が出た。暑い夏に汗をかきながら水不足を心配していたら、愛知県では豪雨災害と世紀末を思わせた。大野は幸いにも自然災害の恐怖にさらされなかったが、百年前には大野町大火の記録が残っている。冬の到来とともに寒くなり火の使用が多くなる。火災は個人の注意で防げる。自然災害を防ぐのは困難だが、人工災害は防ぐことが可能だ。新世紀へ災害のない美しい大野を持つていこう。市政10大ニュースもよいことづくめで締めくりたい。二十世紀に置いていくもの二十一世紀に持つていくものをそれぞれが整理し新世紀を迎える準備の月、師走。二十一世紀への航海は？新世紀へのカウントダウンがいよいよはじまる。夢と期待を込めて風見鶏より。(Y)



森目の長瀬清吉さん(六十一歳)の宝は、三十年以上愛用しているカメラです。

これは昭和四十年に発売された「ゼンザプロニカS2」という型で、コンパクトカメラなどによく使われている三十五mmのフィルムよりも大きな正方形のフィルムを使うため、中型カメラと呼ばれています。それまで高性能の中型カメラといえば、外国製の高価なものばかりでした。このカメラは、国産で初めて同じよう

72 三十年間愛用しているカメラ

長瀬 清吉さん(森目)

メラを使いますね。自分のイメージに一番近い写真が撮れることから、とても気に入って、使い続けています。数年前までは、きれいな自然や風景を求めて県外によく出かけましたが、最近は大野の風景もすっかり撮っていいこうと考えるようになり、刈込池や打波川などいろいろなところへ積極的に出かけるようになったそうです。



「写真には、撮影した人の気持ちが表れると思います。うれしいときと気が滅入ったときではずいぶん違いますからね。年齢を重ねるとともに写真に深みや味わいが表れてくることもありますよ。写真を撮り始めて約五十年になりますが、これはという納得のいく写真は、まだ一枚も撮れていません。撮影に対して意欲おう盛な長瀬さん。二十一世紀も美しい大野の自然を写真に撮り続けたいそうです。



あとわずかで今世紀もフィナーレ。この一年を振り返ってみるとミレニアムであげられた。イベントにはミレニアムの冠詞がつけられ、商品もミレニアムで売り出した。シドニー五輪から恐竜エキスポなど各種イベント。プロ野球ON対決など千年紀にふさわしい行事が各地で展開された。話題の人もノーベル賞の白川英樹さん、マラソンの高橋尚子さん、スベスシャトルディスプレイの若田光一さんなど枚挙にいとまなし。自然界ではミレニアムに同調したかのように困った現象がみられた。有珠山の噴火をはじめ、全島避難となった三宅島。全国各地で頻発する地震に驚かされ、鳥取西部地震で被害が出た。暑い夏に汗をかきながら水不足を心配していたら、愛知県では豪雨災害と世紀末を思わせた。大野は幸いにも自然災害の恐怖にさらされなかったが、百年前には大野町大火の記録が残っている。冬の到来とともに寒くなり火の使用が多くなる。火災は個人の注意で防げる。自然災害を防ぐのは困難だが、人工災害は防ぐことが可能だ。新世紀へ災害のない美しい大野を持つていこう。市政10大ニュースもよいことづくめで締めくりたい。二十世紀に置いていくもの二十一世紀に持つていくものをそれぞれが整理し新世紀を迎える準備の月、師走。二十一世紀への航海は？新世紀へのカウントダウンがいよいよはじまる。夢と期待を込めて風見鶏より。(Y)